

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男 TEL 0258-32-0428

自然保護研修会 鉾ヶ岳

昭和60年10月26日～27日



全国各地の自然破壊、汚染の問題が年々数多く取り上げられ、国民全体に自然保護の関心も問題増加に比例して高くなってきている。けれど相変わらず山の中はゴミの山、盗伐問題、また林道の延長からくる次なる問題、林野庁による自然原生林の伐採からくる動物、鳥類の居住地変更、等、問題点が数多くある。

最近日光国立公園内の盗伐監視、立入禁止区域見回り、登山道整備等を目的としたボランティアを30名募集したところ、82名もの応募があったとのこと。資格認定者は講習会等を受けて、休日祭日などに、一般登山者の監視や自然愛護の宣伝に努めるとのこと。新潟県内にも多数の指導員が自然保護の任を受けて活躍されており。各指導員、協会会員で自然保護に興味のある人が一同に会して、昨年の姫川源流、マイコミ平調査に続いて2回目の自然保護研修会を、能生町鉾ヶ岳で開催することになる。

26日夜、柵口山水館に、県北より車3時間半乗って来られた、荒川ワンダーフォーゲル1名を初め、映彩山岳会2名、分水山岳会1名、長岡ハイキングクラブ8名、新井高校2名、高田ハイキングクラブ4名、電気化学さわがに山岳会1名、地元とらろっこ山の会8名の方々が参集する。早速自然保護会議を、副委員長の徳長の司会で開会進行する。室賀会長挨拶後、石田委員長より、秋田での自然保護委員会総会の報告、山梨県の自然保護条例について等があり、報告内容と各地域の問題について討議する。高山植物の盗伐(糸魚川)意味のない登山道の変更(飯豊連峰)車道開通と休暇村によるゴミと盗伐(上越他)ゴミカゴ設置による付近の汚染(各地)魚釣りによる汚れ。スキーツアー後残雪の中からのゴミ(大毛無山)便所の問題、リサイクル制度について、雑誌による植物紹介後の盗伐、違反者の指導と委員権限の限界、等を熱心に話し合う。まだ開催回数が多い、と言うことで、県内各地の情報収集にやや欠ける面もあ

この先自然保護活動に大いに期待するものがあると思う。なお県の環境保全課長宛に、昭和61年以降担当者より出席をお願いし、ご指導助言をいただきたい。との旨要望しておきました。各加盟団体におかれましても、取り組みを強化されて来年度以降参加お願いします。

27日、紅葉した権現岳がくつきり見える良い天気。雲の流れが早いのが心良く出発できる気分である。宿の前に全員揃い記念写真を撮る。柵口ルートから8人、残りの人達が島道ルートから登る。他に溝尾ルートがあり能生からのルートは3本。後1本糸魚川側からのルートがある。海岸に近く、日本海に洗われた鉾ヶ岳(1316・3m)は、登山口からいきなり1000m以上峻立しており、その展望は正に一等三角点である。北陸自動車道の高田平野を走ると、正面に悠然と構えており、山頂からは佐渡、能登半島が一望できる。どのコースも準備体操をしっかり行い、登り口で水を補給して登る。

柵口ルートは能生町の弁天岩近くにある白山神社の奥社が祀つてあるコースで、信者の為に登山道は整備されしっかりとっている。一汗かいて腰を下ろすと正面に白滝が見える。(天狗の力水付近)落差50mは楽にあり、水の勢いで岩の下部は濡れていず、その姿は消防署の梯子車が勢いよく放水している様に似ている。それだけ勾配がきついと言ふことか。岩塊に流れ込んだ水が10m位離れた所から湧き出るようにして流れ出、伏流現象を起している。鎖場を何ヶ所か抜けると4合目の胎内くぐりに出る。岩と岩が重なったトンネルを通り抜ける登山道で全長25m。四つん這いになったり、太目の人はザックを降ろして通ったりで、なかなかおもしろい。通り抜けが辛く、少し暗いので、正に胎内くぐりである。出た所から石楠花林となる。この急勾配によくしがみついている、と思うような場所である。鉾ヶ岳は石楠花でも有名な山である。根元から四方八方に延びた枝は、地面を這うように

広がり、見事としか言いようがない。春は写真に収める人達で賑わうとのこと。約1時間登れる。数年後高速道が開通すると、さらに多くの人達にその美しさを見せてくれるだろう。天狗屋敷の祠に、杉木立の間から御参りして、5合目のはさみ岩をなんとか通り抜けると白山奥社である。岩が切り立った場所で、登山口が足下に見える勾配である。一息入れて登れば権現岳に着けるが、ここまでは本当にきつい勾配で、おまけに胎内くぐり、はさみ岩と、昔から太目の人を制限したと思われる節がある。

権現岳からは、トッケ峰、鉾ヶ岳、大沢岳、金冠と、鉾ヶ岳山塊が一望できる。晴れた日は頸城三山も眺められるのだから、今日は残念ながら雪雲が覆っている。タコの足がからまったような夫婦ヒバを通り抜けた頃から雨と風がきつくなる。海まで8km位の距離なので、風が起きると横からきたり、下から上への吹き上げとなり相当厳しい。1時間30分で鉾ヶ岳山頂へ行く。途中、のぞかずの窓があるが、この山はどこも同じ谷底なので何時も注意が必要である。山頂直下にミズバシヨウが群生している池もある。くるぶしまで埋まる新雪を踏みながら、能生山岳会が建てた小屋に到着。3時間15分のコースであった。ちなみに島道コースの人達はゆっくり登って2時間55分。10分の違いで合流する。昼食後、糸魚川、

親睦登山 苗場山

昭和60年10月12日、13日

早川谷を見ながら下山。大沢岳から三重の滝コースを通過して2時間30分で島道鉱泉着。早速解散式を行なう。地元と一ろっこ山の会による2回の下見で無事登山できたことを感謝する。島道鉱泉で汗を流して帰郷する。登山道が整備された汚れていない山であった。

長雨の続く秋の空模様。紅葉時季なんとか晴れないものか。せっかくの遠路楽しみにして来たのに、と念じながら中津川溪谷を車が走る。恒例の協会行事、親睦登山である。久し振りに山友達に拝顔でき、語り合えるのを楽しみにして出掛けてきた。秋山郷入口、大赤沢集落で陽が落ち、秋の夜長の初まりと思うが、谷間の為か時計はまだまだ早い時間を回っている。どうして夜が長い世界に住んでいて、小赤沢では、津南山岳会の桑原悌治さんが、幕营地、宿の案内を道路に標示して、判りやすくしていただきたる。宿の中津荘には三三五五仲間が集う。協会長を初め、村松の笠原藤七さん、分水山岳会山田一男さん、越稜山岳会山田智子さん、悠峰山の会2名、九期山の会2名、加茂高校笠原先生、長岡ハイキングクラブ、地元津南山岳会と、参加

者数は40名になる。明日の天気が悪ければ、秘湯巡りにすれば良いと夜遅くまで談笑が続く。

女将さんの配膳の音で目が覚める。「皆さんの天気祭が盛大だったから、青空だよ。」と言われ、「しまった。」と頭を押えた時はすでに遅し、昨晚の会話をまとめてはきだすように「ガンガン」メロデーを奏でている。対岸の鳥甲山の紅葉が何とも美しい。中津川へ落ち込む絶壁。こんな素晴らしい景観と露天風呂。料理と酒がまずくなるはずがないと思う。

昨年開通した上ノ原から3合目までの林道を車で登る。途中は伐採が進み、杉の植林が広く施されている。鳥甲山を正面から見、写真を撮るには良い場所である。ただ残念なのは、1合目から3合目までのブナ林と、九十九折の道に隠れる池。これらが小赤沢からの登山道で一番良い場所だと思いが、車だと残念ながら通らない。下山時に運転者だけ車で下り、他の人は歩くようにしてでもみた方が良く

と思う。十分堪能でき、また感傷に落ち入る場所でもある。登山道は標識がしっかりしており、次の合目迄の時間も記入されているので励みになる。帰路に着く。天候の早い回復

苗場湿原が始まる9合目まで、子供、女性の足で2時間30分で登れる。9合目から山頂の一等三角点まで木道になっており30分。

冬のたたずまいを感じさせる湿原、池塘。白砂山、横手山、越後三山。谷川連峰を眺め、写真を撮りながらゆっくりに進む。遊仙閣に11時到着。東京から朝出掛けてこられた土田幸雄さんと、5分の違いでバツタリ。日山協会議、関東地区会議には、何時も無理を言ってお席をお願いしている。早速昼食となる。笠原藤七さんが1時間遅れで到着。桑原悌治さん、藤井信さんらのサポートをものともせず、自力で登頂される。県登山界の先駆者、大平晟翁レリーフ前で、県内山岳団体の隆盛と、登頂者の安全を祈願し、笠原藤七さんの音頭で万歳三唱して下山へ。下山時、各々ナイロン袋片

手に数入り、カタヒラきのを袋一杯にして出てくる。今年新装なった小赤沢の共同浴場で、すがすがしい汗を流し

第6回北信越5県登山協議会

登山協議会

期日 昭和60年11月2日(土) 3日(日)
会場 福井県坂井郡芦原町
出席 室賀輝男、五十嵐篤雄、石田国夫、藤井信、吉野良介、杉本敏
1.北信越国体について
(1)第6回大会 富山
資料(報告書)により説明
(2)第7回大会 長野
期日 昭和61年7月25日(金) 27日(日)
会場 大町市及び北安曇郡松川村
踏査 神戸原(松川村)
登攀 仏崎(大町市)
縦走 有明山(松川村)
地図 大町南部、有明
資料配布有
(3)第8回大会 福井
第42回沖繩国体時、登山競

が親睦登山の楽しみを倍加させてくれた。次回も宿の部屋割が困る程、多勢集まってもraithたい。(杉本敏)

新年会

技なし。北信越としては行ないたいが、日山協の方針が決定されなければ、県としては動けない。(予算措置を講じない)
2.第40回鳥取国体について
各県監督より報告あり。
3.第41回山梨国体について
準備状況、役員依頼報告等
4.会議順について
高体連と合流して会議を持った方が、国体運営等スムーズに行き、理解しあえるとの意見。高体連側、総体に重点をおき、高校内部の討議に重点をおいているので、もう少し合流を見合わせてもらいたい。
5.審判員研修会
期日 昭和61年2月15日(土) 16日(日)

会場 長野県大町市 山岳センター
会議後高体連顧問との親睦会が計られ、5県で40数名の参加者となった。県内高体連から6名の参加あり。(杉本敏)

上・中越地方に大雪が降る1月26日、新潟駅前ステーションホテルで恒例の新年会が開催された。各地で2mを越え3mの大雪に乗る中、新潟は10cm足らずの降雪。うらやましい限りである。列車、バスの遅れが伝えられ、出足が鈍ると予想される中11時には50名を越える数となり、記念写真を準備する高橋カメラマン「これでは被写体全員がカメラに納まらない。」と嘆く。総勢24団体58名の参加者を数え、室賀協会長の新年の挨拶。一峰会上野寿一氏の音頭で乾杯。各地区、各会代表によるスピーチで会が進行する。同じ話題を持った仲間達の集いだから直ぐにグループ毎の

会話ができ、司会が会話中断
のお願いをし、電気化学さ
わがに山岳会小野健さんが、
昨年11月3日、日報文化賞受
賞の栄誉を披露紹介。会場か
ら割れんばかりの拍手。「ひ
とつこのことを長く研究した
だけで、特別なことではあり
せん。これは皆様と一緒に歩
いてきた足跡を、自分が代表
して表彰されたことで、これ
からも一緒に山歩きしましよ
う。」と挨拶。山仲間の誇りと
励みが増えた喜ばしい出来事
だと思ふ。

酒量消費が多い山の会合。
会場側も引き受けたが最後と
覚悟したのか間断無くテーブ
ルに銚子を並べる。その数を
見て負えたと言わない猛者
も凄い。親睦を深めた一日で
あった。(S)

指導員研修会

通信欄より

11月23日24日に富士山に又
々行ってきました。初日は天
気も良く、7合目大沢にてミ
ッチリ夕方迄雪上訓練を行
う。24日にアタックしました。去
年と同じくアタック日はもう
吹雪で山頂に5分休んだだけ
で下山しました。

越後山岳会 内藤新一郎

会恒例の秋の親睦登山を東
蒲上川村の御前ヶ遊窟で行い、
今年の最後の締括りとして八
ガ岳(冬山訓練正月中)の準
備に追われております。また

ています。

新潟大学ワンダー

伊藤信夫

去る9日、思い立って長岡
市深沢の高頭さんの墓参に行
って参りました。正林寺の住
職さんのお話をいろいろ聞く
ことができ大変よかったです
と思っています。資格だけのこ
とはしておりませんが、資格剥
奪となると淋しいし、久しぶ
りに皆さんにお目にかかれる
と思ひ出席します。

森谷周野

61年3月〜4月にかけての
スキー山行の具体的な計画を
検討中。広報担当は会報No.4
作成準備におおわらわであ
ります。

矢筈山岳会 松尾 弘

只今、年末のスキー合宿、
正月山行、3月残雪合宿の準
備で大わらわです。雪山登山
組織運営、普段のトレーニング
グ等、先輩方よりお話を承り
たく思います。このような機
会を大切に、当クラブの見
直し改善に役立てようと考え

下越山岳会 五十嵐篤雄

今年度は今までに山行12回。
もう少し稼ぎたいと考えてい
ます。相変らず未踏峰探訪を
続けております。

峡彩山岳会 筑木 力

10月中旬に町民登山燕岳山
なりました。11月2日〜4日

行を行いました。好天に恵ま
れ、町民の皆さんにも喜ばれ
好評でした。11月中旬には分
水町体育協会10周年記念式典
が行われ、当山岳会員も出席
し、分水町体育協会の今後の
発展を祈念致しました。

新潟鉄工山の会

今井恒夫

分水山岳会 山宮レイ子

会報「こけもも」の資料集
めです。特集として「八海山
の山岳信仰」を編集する予定
です。越後三山 関 正一

津南山岳会 桑原梯治

秋になりましたから総合体
育大会山岳の部「米山」粟ヶ
岳避難小屋の内装修繕、アタ
ン張りについて2年がかり
の工事でした。11月3日粟ヶ
岳山終い。新潟、長岡より参
加、最後の賑い。

あとがき

1月26日夜11時頃、能生町
柵口地内で大雪崩が発生。13
名の死者と負傷者がました。
亡くなられた方々に、謹んで
哀悼の意を表します。

加茂山岳会 横山克成

海外遠征の話はないのです
か？ 国体では20位台になっ
たそうで、昨年よりは大幅良
くなったようですね。

悠峰山の会 渡辺 重

会員各位も、雪山春山には
充分気を付けて、事故の無い
山行をお願いします。

同地内で昨年10月、自然保
護研修会の会場として、県内
各地から仲間が集いお世話に
なった所でありました。一日も
早い復興と、今後の対策を熱
望します。